

# 令和4年度防衛関係予算のポイント（概要）

## 総額

- 令和4年度の防衛関係予算は**5兆, 4005億円**を計上。  
(初めて5.4兆円を超える規模の予算を確保)
- 防衛力の整備が必要となる「**領域**」や「**時間軸**」のバランスを考慮して編成。
  - **従来領域**における防衛態勢・装備品の整備と、**宇宙・サイバー・電磁波等の新領域**への対応
  - **短期・中期・長期**のそれぞれを見据えた防衛力整備

## 中期防対象経費

- ミサイル、機雷・魚雷等の緊要な装備品の取得等を措置した令和3年度補正予算（7,738億円）と合わせ、戦車・護衛艦・戦闘機等の**従来領域の装備品の取得、予算上の自衛官数（実員）の近年最多の増員（1,014名）**等を実現。新領域では**宇宙状況監視システムの整備**等を通じて能力を強化。
- 研究開発について、契約ベースで**過去最大となる2,911億円（+796億円）を確保**。次期戦闘機や将来ルールガンなど、装備化まで長期間を要すると見込まれる研究を含めて予算配分。

## SACO・米軍再編経費

- **移転事業等を着実に推進**し、地元負担の軽減等を図るため、**2,217億円（対前年度+30億円）**を措置。

【防衛関係予算の推移】

